

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 令和4年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：歯科医療従事者の保健指導力向上による「かかりつけ歯科医」機能強化事業</p>
<p>2. 申請者名：一般社団法人新潟県歯科医師会 会長 松崎正樹</p>
<p>3. 実施組織：一般社団法人新潟県歯科医師会、公益財団法人新潟県歯科保健協会</p>
<p>4. 事業の概要： 医科歯科連携や多職種連携の推進により多様化する様々なリスクファクター、疾病と口腔保健との関わりを学び、日常診療における保健指導力、コーチングスキル向上を目的とした「歯科医療従事者の保健指導力向上研修会」を開催した。さらには、患者側の健康教育や啓発活動による県民意識向上も重要であることから、今年度は県民の認識がまだ浅い「オーラルフレイル」についての啓発事業を行った。</p>
<p>5. 事業の内容： 【歯科医療従事者の保健指導力向上研修会】 講演1 日時 令和5年3月16日（木）午後2時～5時 会場 新潟県歯科医師会館 3階 大会議室 演題 保健指導 患者がガッテンする視点を探ろう！ 講師 北折 一 先生（元・NHK「ためしてガッテン」演出担当デスク、経済産業大臣認定・消費生活アドバイザー） 参加者数 60人 その他 日本糖尿病協会 登録歯科医のための講習会該当 令和4・5年度日本歯科医師会生涯研修事業 6単位 講演2 期日 令和5年3月1日（水）～8日（水）講演動画配信 演題 歯科で行える高齢者の栄養管理 講師 北林 紘 先生（医療法人新光会村上記念病院、公益社団法人新潟県栄養士会、管理栄養士） その他 日本糖尿病協会 登録歯科医のための講習会該当 令和4・5年度日本歯科医師会生涯研修事業 1単位 参加者数 108人（回再生） 講演3 期日 令和5年3月8日（水）～15日（水）講演動画配信 演題 ヘルスプロモーションの理解と乳幼児期の歯科保健指導（口腔機能育成関連） 講師 野村 圭介 先生（公益社団法人日本学校歯科医会副会長） その他 令和4・5年度日本歯科医師会生涯研修事業 1単位 参加者数 96人（回再生） 【「オーラルフレイル」啓発事業】 県行政と連携してマンガで分かるオーラルフレイル・リーフレットを制作し、会員診療所をはじめ、行政庁舎、病院・薬局、高齢者施設、関連団体、にいがた健康経営推進企業等へ配布した。また、リーフレットを素材にメディア啓発を行った。 ①TV 広告（30秒8本）、②万代シティデジタルサイネージ（TV 広告放送期間） ③TV スマイルナビゲーション（ミニ情報番組内で放送50秒1回） 他</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）： 平成30年度より、歯科医療従事者の保健指導力、コーチングスキル向上を目的とした研修会を様々なテーマ、多職種連携のもと継続開催してきた。口腔の健康と全身疾患との関わりが明確になり、医科歯科連携はじめ多職種連携が進む中、様々なリスクファクター、疾病に対し歯科医療従事者としてどのように関り、どういった対応が必要なのかは多様化している。う蝕治療・予防など口腔管理のみならず、これらのリスクファクター、疾病予防に対する保健指導の役割は、「かかりつけ歯科医」機能として重要であると考えられ、健康寿命の延伸、生活習慣病予防への寄与にも期待される場所である。開催5年目を迎え、これまでの受講者の日常診療における保健指導力、コーチングスキルに関してどのような変化があったかは、受講者アンケート等で調査したいと考える。 令和3年県民健康・栄養実態調査報告（新潟県）によると、「オーラルフレイル」という言葉を知っている人の割合は、男性21.1%、女性32.4%であり、引き続き県民啓発に努めたい。また「オーラルフレイル」に対する口腔機能の検査項目・方法、結果に応じた適切な指導など、歯科診療所における対応に関して、ある程度の標準化、マニュアルが必要と思われる、会員研修会を企画したい。</p>

